

小児科学系

小児医療の総合性を重視し、小児医療の専門分野すべてに対応が可能。
1927年に開設し、熱意に満ちた指導で本邦屈指の小児科学教室に発展した伝統のある医局。



日本大学小児科の紹介

◆小児医療の総合性を重視し、小児医療の専門分野すべてに対応

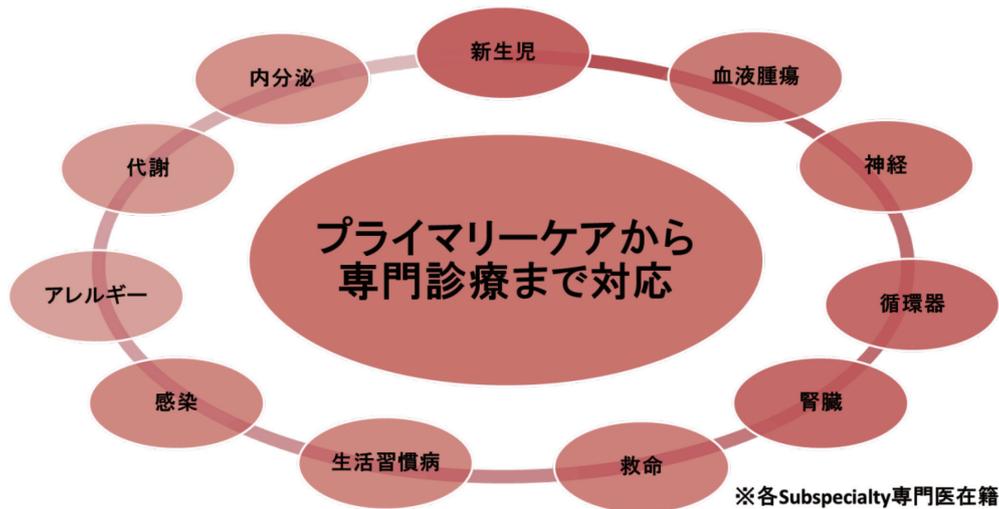


主任教授 森岡一郎

日本大学医学部附属板橋病院は都内で唯一「スーパー胎児母体救命」、「こども救命」の両方を指定されている病院です。板橋区平日夜間こども救急事業を大学内で行い、1次～3次救急まで応需していることも特色です。日本大学病院は、小児糖尿病、先天代謝異常症に特化した診療を行っています。両病院ともにプライマリーケアから専門医療までカバーし、オールマイティーな小児科医をめざす医師には最高の研修場所を提供しています。

平成30年4月から森岡一郎教授が第11代主任教授に就任し、診療のノウハウやマインド、連携体制など日本大学小児科の臨床の良き伝統を継承しつつ、新たな研究や発展に注力しています。

◆小児科サブスペシャリティ分野

**新生児班**

超早産児治療（当院の経験した最小出生体重は289g）、低体温療法やECMOなどの高度医療も行っていきます。新生児蘇生法講習会も主催しており、専攻医全員が資格を獲得します。

血液・腫瘍班

小児病棟入院患者の半数を占めています。AYA世代のがんサバイバーにケアにも特化しています。内分泌学的な視点で治療歴と性ホルモンや成長ホルモンを研究するほか、成人の循環器内科と協力し、腫瘍循環器外来を行っています。

神経班

非常に多種類の神経疾患を扱っています。起立性調節障害の病型診断に特化しており、近年急増する、虐待や不登校などこころの問題に対し、臨床心理士、音楽療法士、保育士と連携し、心理カウンセリング、発達専門外来を行っています。

腎臓班

学校検尿から、腎炎・ネフローゼなどの腎生検、急性腎不全、敗血症性ショック、先天性代謝異常症等に対する急性血液浄化や膠原病に対する免疫吸着療法まで幅広く行います。

糖尿病・内分泌班

日本では数少ない小児糖尿病専門外来を持ち、1型糖尿病の患児家族の会（東京なかよし会）を設立しており、年に1度夏季に糖尿病サマーキャンプを実施しています。内分泌疾患も負荷試験を積極的に行い、幅広い治療と生活のアドバイスをしています。

代謝班

新生児マススクリーニング対象疾患の診断と治療及び遺伝相談を行っています。個々の疾患に対応した具体的な栄養管理などきめ細かな治療・指導を行います。最近ではメープルシロップ尿症合併妊娠管理を行い、無事赤ちゃんが元気に退院した世界的にもまれな経験があります。

アレルギー班

外来・入院で食物アレルギー負荷試験を積極的に行い、症例数は着実に増加しています。関連病院である東京都立広尾病院小児科はアレルギー専門医認定施設となっており、出張中に専門医資格が取得可能です。

循環器・生活習慣病班

川崎病に対する最新の検査と治療によって成人までトータルケアを行います。都内や埼玉県の学校心臓検診も委託されています。小児生活習慣病の専門外来指導も行っていきます。

感染症班

すべての小児患者の感染症に対し、病原確定、抗菌剤適正使用の検討や治療指導を行います。小児感染症専門研修施設に認定されており、小児感染症専門医の取得も可能です。

救命班

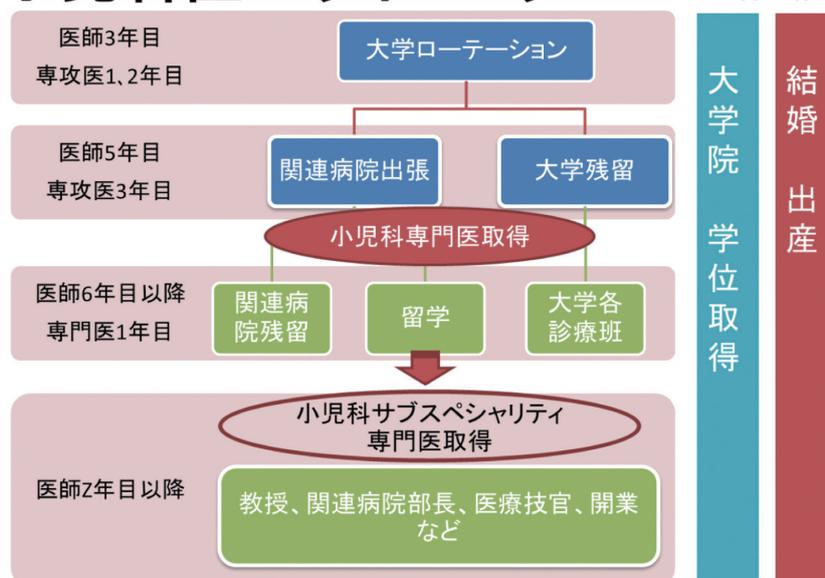
平成22年9月から東京都のこども救命センターに認定され、内因性・外因性含め年間約150人の重症患児対応をしています。シミュレータを用いた蘇生訓練を適宜行います。救命科と連携し、成人も担当することで救命専門医の資格も獲得可能です。DMATにも参加しています。

日本専門医機構認定 日本大学小児科専攻医プログラム

小児科研修を3年以上受けた後に専門医試験を受験します。

受験要件には30症例の症例要約と論文が必須です。3年間で研修基幹施設である日本大学医学部附属板橋病院と、関連病院をローテーションします。受験医師1名に対して指導医2名が担当し、30症例の症例要約を完成させ、非常に手厚く指導しています。論文は必ず3年で1編以上アクセプトされます。

小児科医のライフプラン～日大小児科の場合～



専攻医ローテーション

		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
専攻医1年目	A先生	腎心	血液	日本大学	新生児
	B先生	新生児	日本大学	血液	腎心
	C先生	神経内分泌	腎心	千葉	血液
	D先生	日本大学	血液	足利	千葉
	E先生	血液	神経内分泌	腎心	足利
	F先生	新生児	足利	血液	日本大学

		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
専攻医2年目	A先生	神経内分泌	自由選択	イムス富士見	
	B先生	イムス富士見		神経内分泌	自由選択
	C先生	足利	日本大学	新生児	さいたま市立
	D先生	腎心	新生児	さいたま市立	神経内分泌
	E先生	新生児	千葉	自由選択	日本大学
	F先生	千葉	神経内分泌	腎心	自由選択

		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
専攻医3年目	A先生	イムス富士見			
	B先生	沼津市立			
	C先生	さいたま市立			
	D先生	小張総合			
	E先生	春日部市立			
	F先生	都立大塚			

(詳細はホームページ <http://www.nichidai-ped.com/> もご参照ください)

研究活動

(1) 大学院 学位研究テーマ

- ◆アレルギー疾患患者と健常人におけるパラベン類・トリクロサンを含有する外用薬や日用品の使用実態と暴露評価（岩間元子）
- ◆Natural-Course Evaluation of Infants with Positional Severe Plagiocephaly Using a Tree-Dimensional Scanner in Japan.（能登孝昇）
大学院以外にも DoHAD 研究、血液がん長期予後研究、超早産児認知研究など

(2) 留学 過去5年内

- ◆Massachusetts General Hospital, Harvard University（2016.10-2020.3 齋藤宏）
- ◆Dana-Farber Cancer Institute（2017.9-2020.3 下澤克宜）
- ◆University of Southern California（2018.6-2018.10 高野智圭）
- ◆Stanford University（2019.11-2021.1 不破一将）
- ◆Medical University of South Carolina（2019.10-2023.8 渡邊拓史）
- ◆University of Alberta（2022.4 不破一将）
- ◆国立成育医療研究センター（2020.4-2021.3 吉田圭）
- ◆早稲田大学（2020.4-2023.4 伊東正剛）
- ◆東京女子医科大学輸血部（2020.4-2023.4 中原衣里菜、田村豪良）
- ◆東京都立小児総合医療センターアレルギー科（2022.4-2023.3 瀬戸比呂木）
- ◆東京都立小児総合医療センター腎臓科（2022.4-2024.3 中崎公隆）



小児科病棟指導の様子

問い合わせ先

日本大学医学部小児科学分野医局長
 岡橋 彩（おかはし あや）
 〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1
 TEL：03-3972-8111 PHS 8113
 FAX：03-3957-6186
 E-mail：okahashi.aya@nihon-u.ac.jp

